

盛岡広域圏経済戦略(素案)に対する委員及び構成市町からの主な意見

番号	区分	内容
1	懇話会	再生可能エネルギーによるエネルギー自給率のデータは、古い政策によるエネルギーも含まれている点に違和感を覚える。最近の新エネルギーを中心に考えなければならないのではないか。
2	懇話会	盛岡広域圏の情報発信拠点の提案は、いわて銀河プラザと趣旨・機能が同じなのであれば、共同により一箇所で集中してやったほうが良いのではないか。
3	懇話会	経済戦略に、年度別の目標や各市町の目標数値を設定したほうが良いのではないか。
4	懇話会	戦略産業に農林業が挙げられているが、林業の視点が無い。
5	懇話会	特色を伸ばす・生かすという視点も分かるが、誰に売するのか、誰に来てもらうのかといったマーケットインの視点を意識する必要があるのではないか。
6	懇話会	広域圏全体に通じる取組は挙げるのは難しいと感じる。たとえば、構成市町で役割分担をするということも検討してはどうか。
7	懇話会	若年層の域外流出について、就職口はあるのだが、父母の考え方・職業観、求人のタイミングの遅さなどが影響し、マッチングが巧くいっていない。
8	懇話会	経済的に困窮している学生が多く、首都圏へ就職する学生のうち経済的理由により流出している者も少なくない。域内企業への就職を条件とした給付型の奨学金を設けてはどうか。
9	懇話会	「人口を減らさない」「外貨を稼ぐ」「エネルギーの自給自足」といった市民にとって分かりやすい目標が必要ではないか。
10	懇話会	「広域圏」とは、地理的な表現であり、住民・消費者に届かない。親しみやすい愛称などを付けて地域をブランド化してはどうか。
11	懇話会	インバウンドを呼ぶということは、突き詰めれば、外国人が暮らしやすい、就職しやすい環境を整えるということだ。地域に暮らす外国人が、自分の国の人たちに「良いところだ」「良いものだ」と紹介することでインバウンドが増え、高いものが高く売れる。外国留學生が増えて、そのまま就職するような施策を仕掛けられないか。
12	懇話会	「盛岡広域圏はこうだ」という目指すべき方向性を打ち出したほうが良いのではないか。
13	懇話会	女性は強いセールス力を持っている。女性が働きやすい環境を整えることが必要である。また、実際に起業している女性の話子ども達が聴く機会などを増やす必要があるのではないか。
14	懇話会	若年女性の動向に強い関心が集まっている。そこで、盛岡広域はどうか分析し、課題として挙げ、これら若い女性を留める施策、即ち女性が働きやすい施策を盛り込んでほしい。
15	懇話会	第3の経済戦略の基本方針は、方針1に「食料・エネルギーの地産地消」と言う言葉が入ってきて良いのではないか。

16	懇話会	日帰り客と宿泊客, 更には外国人観光客の分析も必要では無いか。
17	懇話会	盛岡広域圏はこれだというキーワード必要。 内容上もそれに合わせて, アクセントをつけて, 総花的でないようにする必要がある。
18	懇話会	ILCについては, 産業集積, まちづくり, グローバル化等大きく飛躍するチャンスである目玉であるので, 是非, 盛り込んでほしい。
19	懇話会	盛岡広域圏の市町相互に通勤通学などの往来があることを明示するべきではないか。
20	懇話会	将来のスマートインターチェンジの記述もあるので, 同様に宮古盛岡復興道路(国道106号)の記述を加えてはどうか。
21	懇話会	「主な転出先は, 首都圏及び宮城県であり」とあるが第1章に裏付けの記述がない。
22	懇話会	「圏域のIT技術者を養成する大学・専門学校の卒業生は, 現時点では, 県外への流出が多い状況です」とあるが, 第1章に裏付けの記述がない。
23	懇話会	「盛岡市を中心に圏域内を人が行き交い, お金とモノが活発に循環する取組を推進」とありますが, この考え方では盛岡市には経済効果があっても周辺の市町では富が移転・流出するだけになってしまうので, 表現の再考が必要。
24	懇話会	取組例に掲げる外貨獲得の手法として首都圏にアンテナショップを設置するという発想自体が既に東京中心の考え方で, 今後急速に高齢化が進行する首都圏が有望な市場か疑問である。設置, 維持に相当の経費を要することから, 費用対効果も疑問。
25	懇話会	食料品製造業の労働生産性の低さを指摘しているが, 戦略産業では「IT技術の活用」といった抽象的解消策のみの記述で, 具体的方策が示されていない。飲料, 缶詰, 醸造, 菓子など様々な業態があると思うが, 具体的にどのような業態で労働生産性の問題があり, 何が課題なのか事例を示して解説いただけると理解が深まる。
26	懇話会	基本方針と戦略産業とをマトリックスにし, 具体的方策を当てはめてみてはどうか。と委員(あるいは市町職員)の皆様から空欄を埋めていくようなアイデアが出てくると思う。
27	構成市町	「盛岡市からの広域圏への観光地への移動に課題があり, 」→「盛岡市からの広域圏への観光地への移動は, 各市町村ごとに一部対策を講じているが利用が芳しくないなどの課題があり」としてはいかがか。
28	構成市町	盛岡・八幡平広域観光圏のホームページがあるが, 盛岡広域圏の観光コンテンツ作成を取り組みに入れてはいかがか。
29	構成市町	熊野古道などで行われているヘルスツーリズムも有効な取組だと思うので, 次のような表現ではいかがか。 ・ニューツーリズムの推進(スポーツ, グリーン, エコ, ヘルスなど)
30	構成市町	課題の中で, 2次交通の整備を謳っていることから, 具体的方策に次のとおり追加してはいかがか。 ・2次交通体系の整備(追加)
31	構成市町	課題の書き方として2・3番目は改善に向けた対策を盛り込んだ「～が必要です」という表現であり, 1番目は単なる課題。統一したほうが良い。

32	構成市町	林業に関する課題がない。1番目の高齢化や後継者不足は林業も同様だが、耕作放棄地となれば農業だけ。「等」に「手入れ不足の林地」を含めているものか。
33	構成市町	「産直施設の経営強化」が盛岡広域の農林業の課題として本戦略に記載するべきものではないように感じる。
34	構成市町	外国人観光客の受入環境整備とともに、海外への情報発信も必要だと思う。外国人が入国してから盛岡広域圏へ移動してくるための情報をはじめ、宿泊施設、圏域内の移動手段などの情報整備も必要だと思う。
35	構成市町	国内、海外ともに岩手県は積極的に旅行地の候補に選ばれる地域ではないが、知名度の向上は課題ではないのか？
36	構成市町	戦略産業1の農林業の文章中「多様な立地条件を生かし、米、園芸など」に畜産も加えてはどうか。
37	構成市町	具体的方策について、全体的に「圏域」としての表現にしないと、圏域でなくても通用する記載内容になっている。
38	構成市町	具体的方策に「飼料米の生産拡大」とあるが、方針「圏域内な経済循環の促進」とどのように結びつくのか、わかりやすく表現、記載すべき。
39	構成市町	具体的方策「スイーツの生産拡大」を「圏域の特性を活かしたスイーツ」としてはどうか。
40	構成市町	台湾等からの誘客推進に情報発信も加えてはいかがか。
41	構成市町	「アンテナショップの共同設置」とあるが、域外か、域内か、あるいは海外か記載した方がよい。
42	構成市町	「交流人口の増加が期待できる産業分野の強化」について、取組例をみると何の産業を強化するのか分からない。
43	構成市町	課題「若年層の域外流出」について、「こうしたことを背景に」＝首都圏・宮城県への流出…高収入・知識技術を活かす →①農業・自営業者の後継者難 ②全産業を通じた人手不足の問題 →深刻化しています。 この構造は全国的なものだが、盛岡広域圏にそのままあてはまるのか。
44	構成市町	課題「若年層の域外流出」について、IT技術の応用→生産性向上→雇用の拡大の意味は分かるが短絡ではないか。 生産性向上→雇用の拡大の間には、相当数のプロセスがあると思う。
45	構成市町	農林業の課題について、産直施設への消費者の関心の高まり→経営強化は、短絡ではないか。 関心の高まり→安全かつ安定した商品の供給→供給体制の確立→経営強化ぐらいは必要かと思う。
46	構成市町	盛岡広域圏の製造品出荷額等の減少理由は、製造拠点の移転なのか。

47	構成市町	高付加価値を生み出す人材を育成しても、現状では首都圏・宮城県への流出すると分析されている。全産業を通じた人手不足の問題を掲げているなかで、人材と求人のミスマッチについて触れなくてよいか。
48	構成市町	観光の課題について、2次交通を挙げているが、観光地の移動は課題か。地理条件を課題にせず、強みに転換することはできないでしょうか。
49	構成市町	観光の課題について、なぜWi-Fiスポットが求められるのか、一言入れても良いのではないか。
50	構成市町	「課題」は、現状を十分に分析したうえで、求められているもの、予想・懸念・恐れ・傾向、これらに対して対応できていない点を記述していくものとする。 ここにある「必要です」は、対応すべき結果であり、課題ではなく方向を示すものである。工程戻すべきではないか。
51	構成市町	基本方針の導入の文章について、「経済活動の活性化を図ってきている」→「特色を伸ばし」・「新たなイノベーションが創出」・「圏域全体の競争力が高まる」→めざし→「地域資源を生かし」・「産学金官民の連携」→4つの基本方針で取り組む。 流し読みすればきれいだが、繋がりが無い。
52	構成市町	基本方針2, 3について、戦略の基本方針を記述するこの段階で、現状分析は不要。
53	構成市町	基本方針4の「交流人口の増加→人口減少の影響緩和」について、意味はわかるが、短絡的ではないか。どのような影響について、どのように緩和されるのか。丁寧な記述が必要。
54	構成市町	戦略産業1について「食の安全への関心」や「田園回帰」はここで唐突に出てきた言葉で「高付加価値化」や「後継者不足解消」にどう繋がるのわからない。「成長が期待できます。」は理解できるが、戦略産業として課題解決・方針にどのようにリンクするのかがわからない。
55	構成市町	戦略産業2について、「IT技術の活用」しか解消方法がないものか。「など」では弱すぎる。課題の解決に向けた手法を方針に沿っていくつか列記すべきかと思う。
56	構成市町	戦略産業3について、「盛岡城築400年を背景とした歴史資源」は、限定しすぎではないか。
57	構成市町	戦略産業3の「有望である」という表現は言葉足らずではないか。
58	構成市町	戦略産業4の「東北で第2位のIT関連企業の集積」はここで唐突に出てきた表現で、現状分析のなかで圏域の強みとして触れておくべき事項である。
59	構成市町	具体的方策について、取組例が課題解決・基本方針においてどう位置づけられ、戦略産業にどのようにリンクするのかが分からない。目的・手段の階層が3階層ぐらい跳んでいる。